

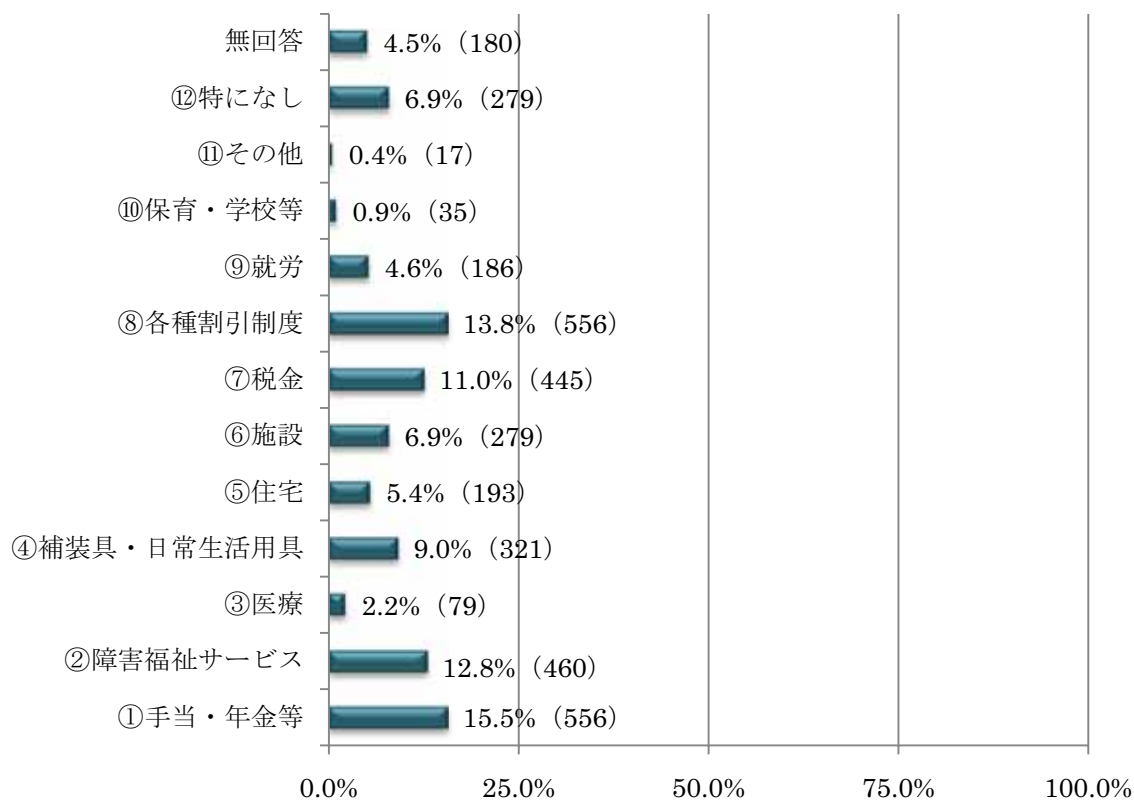
参考資料

アンケート集計結果報告

1. 調査の目的 南国市の障害者の状況やニーズを把握し、南国市の実情にあった障害者計画を策定するための資料とする。また、今後の南国市福祉行政の指標とする。
2. 対 象 南国市在住（施設入所者は市外の場合あり）で下記条件に該当する方
①身体障害者手帳をお持ちの方
②療育手帳をお持ちの方
③精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
④自立支援医療（精神通院医療）を受給されている方
⑤難病患者の方で特定疾患医療受給者証をお持ちの方（市町村への情報提供に承諾をいただいた方のみ）
3. 調査方法 自宅もしくは利用している施設へアンケート調査票を郵送して回答を記入していただき、返信用封筒で返送していただく。アンケートは無記名とする。
4. 調査時期 平成 21 年 10 月 1 日にアンケート調査票を発送。平成 21 年 10 月 31 日までに返送していただくこととする。
5. 回答状況

郵送総数	返送総数	回答率
3,155	1,565	49.6%

広報やホームページに載せてほしいこと（重複回答可）



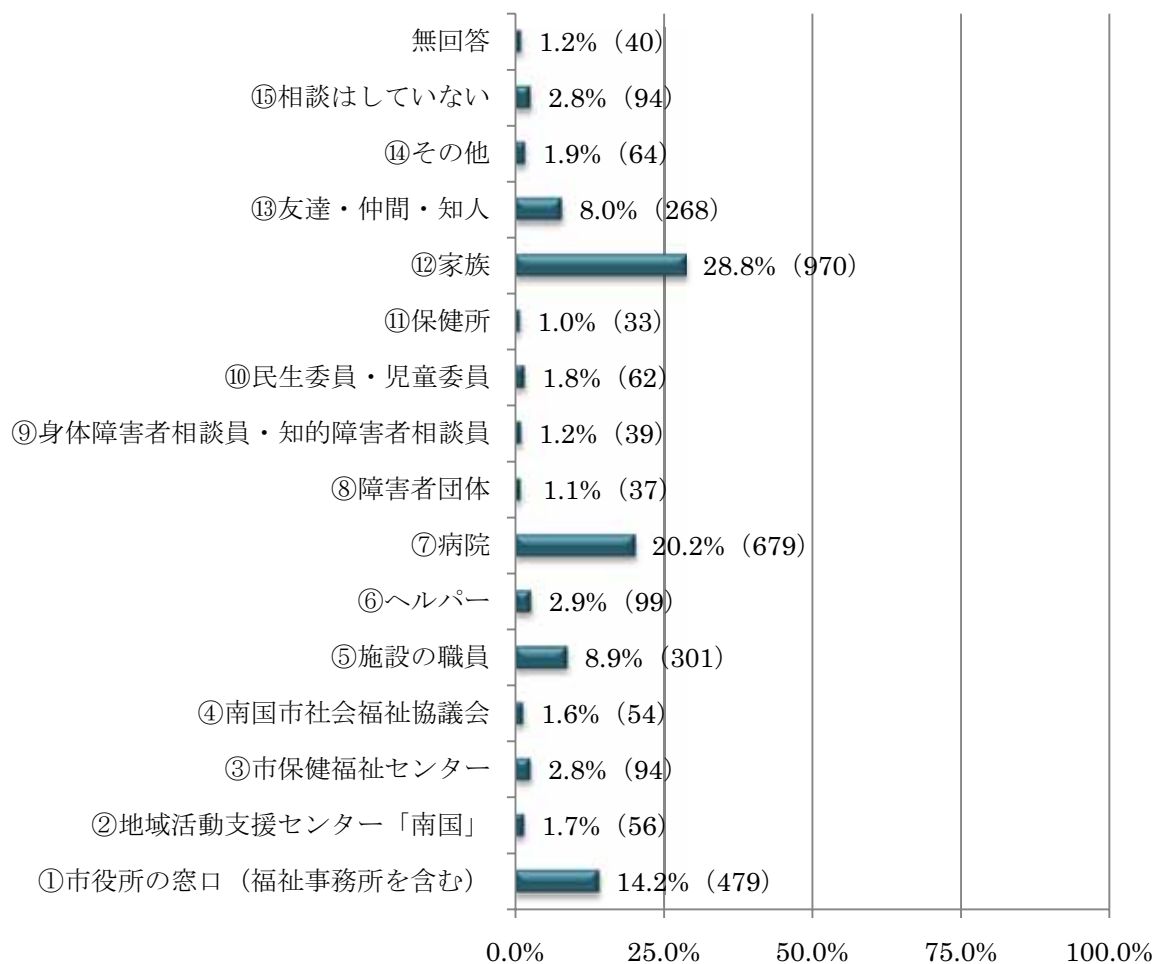
その他の意見（抜粋）

- 地域包括センター、市保健福祉センター、南国市社会福祉協議会などは、どういう時に、どこに行けば良いか
- 自立支援に向けて活動する法人施設、支援する団体
- 障害者が困った時の対処法を具体的に教えてほしい
- 障害者の交流できるイベント

さまざまな情報を広報やホームページに載せてほしいという意見がありますが、なかでも手当・年金等、障害福祉サービス、各種割引制度などについての要望が高いことがうかがえます。

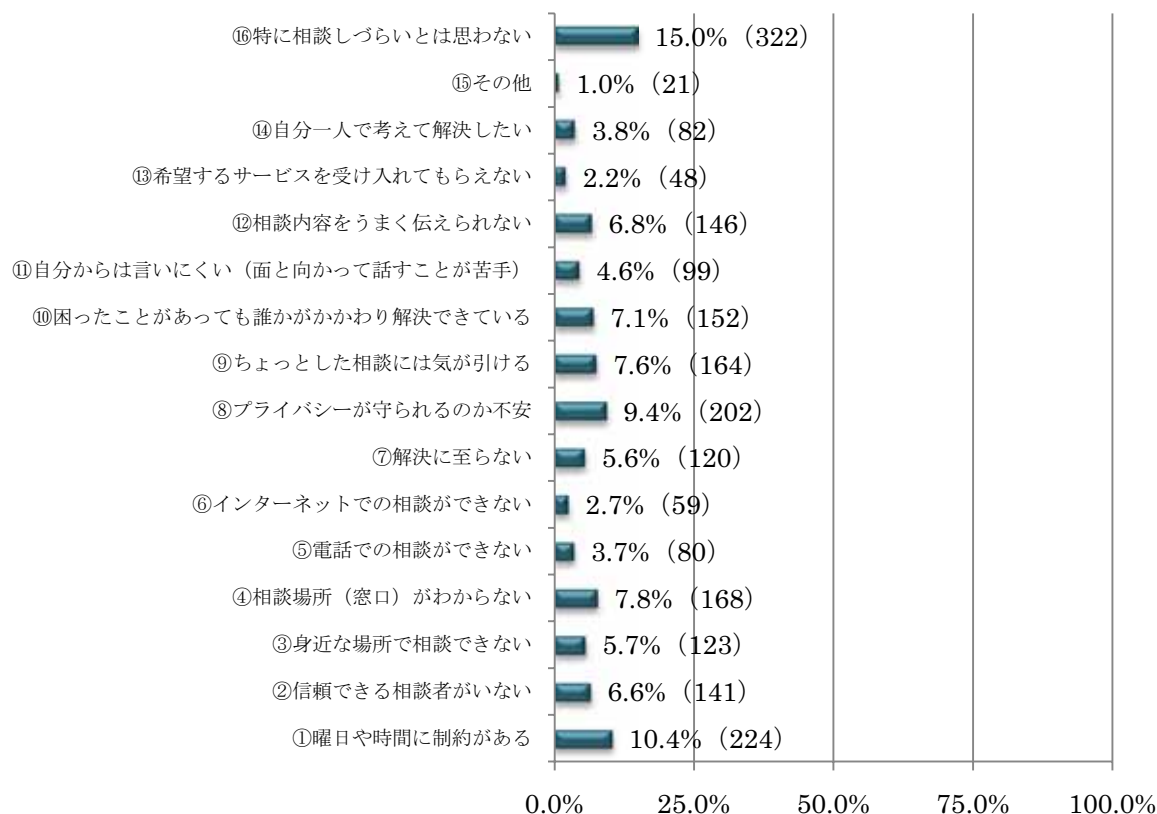
これらの結果を踏まえ、ニーズの高いものを中心に広報やホームページでの情報提供を充実させていくことが求められます。

困った時の相談相手（重複回答可）



困ったことがあるときや必要な支援を受けたいときには、相談する相手や機関が必要になります。相談する相手としては、家族という方が一番多いですが、市役所、施設、病院などの職員という方も多いことがわかります。市が相談支援事業を委託している地域活動支援センター「南国」という意見が比較的少ないので、周知を進める必要があるとも考えられます。

相談しづらいと感じる理由（重複回答可）



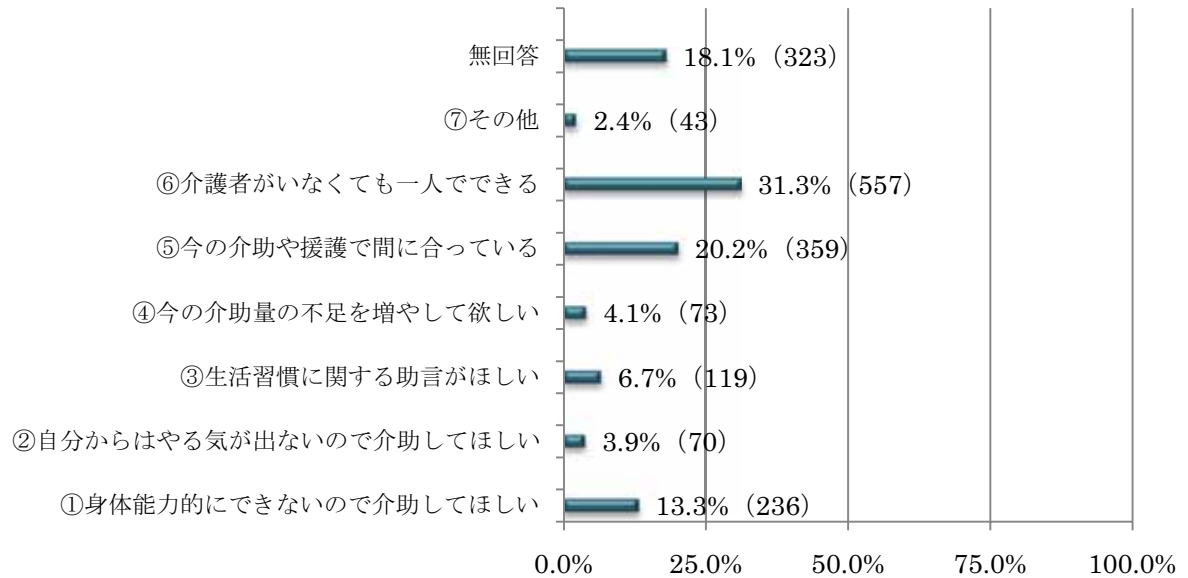
その他の意見（抜粋）

- どんなサービスがあるかこちらに知識がないと聞き出せない
- 相手によって相談しづらい
- 自分一人ではどうしていいかわからない
- 障害者の尊厳が無視されている
- 人に迷惑をかけたくないので、相談しにくい
- 金銭に関わる事だから相談してもどうしようもない

さまざまな相談しづらい理由があることがうかがえます。なかでも、曜日や時間の制約、プライバシーが守られるのか不安、相談場所（窓口）がわからないなどの理由が多いといえます。

これらの結果を踏まえ、行政として可能なことから順次改善をしていき、障害者が相談しやすい体制を整えていく必要があります。

介助や援助について（重複回答可）

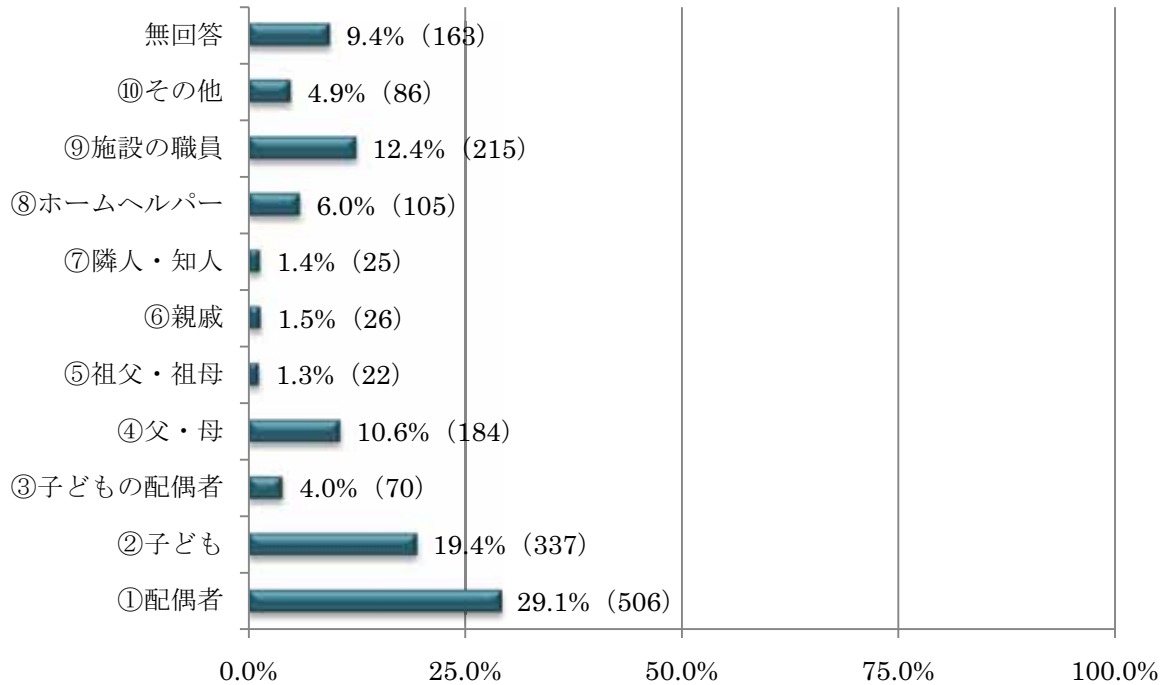


その他の意見（抜粋）

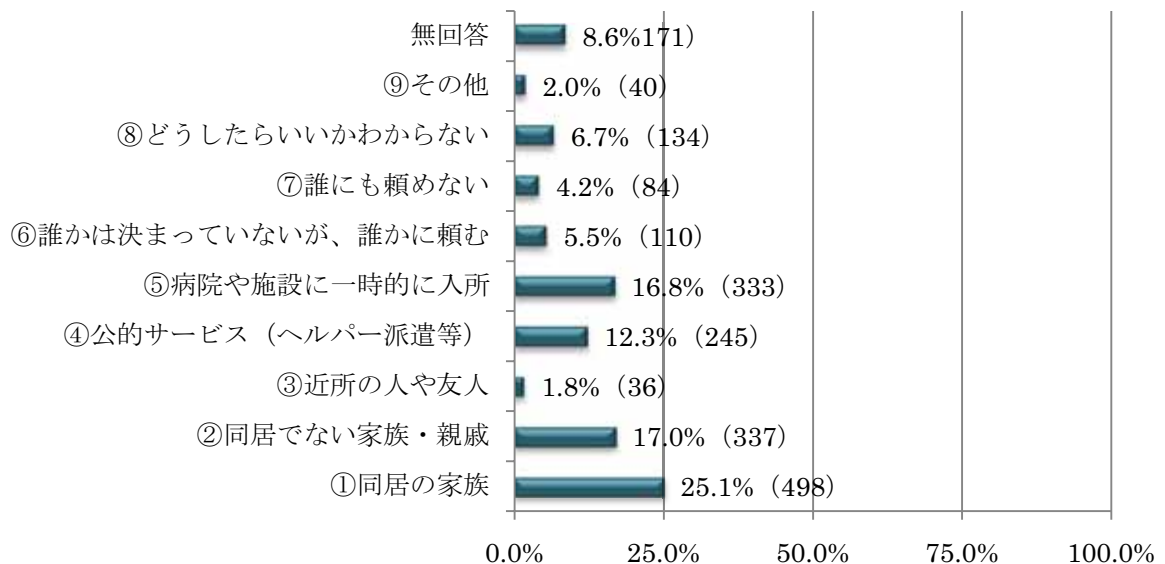
- 家族が夜勤で留守の時に介助してほしい
- 今は一人で出来るが、将来一人で出来るか不安有り
- どの施設も大人ばかりで小学生などを預けられない
- 出来るだけ自分でするが介助が必要な時もある
- 相談できる病院が少ない
- 夜間の行動に不安がある

「今の介助で間に合っている」、「介護者がいなくても一人で行える」という意見が多いですが、「介助量が不足している」という意見もあります。それぞれのケースに応じて、必要な介助や援助が受けられるようにすることが求められます。

介護をしている方

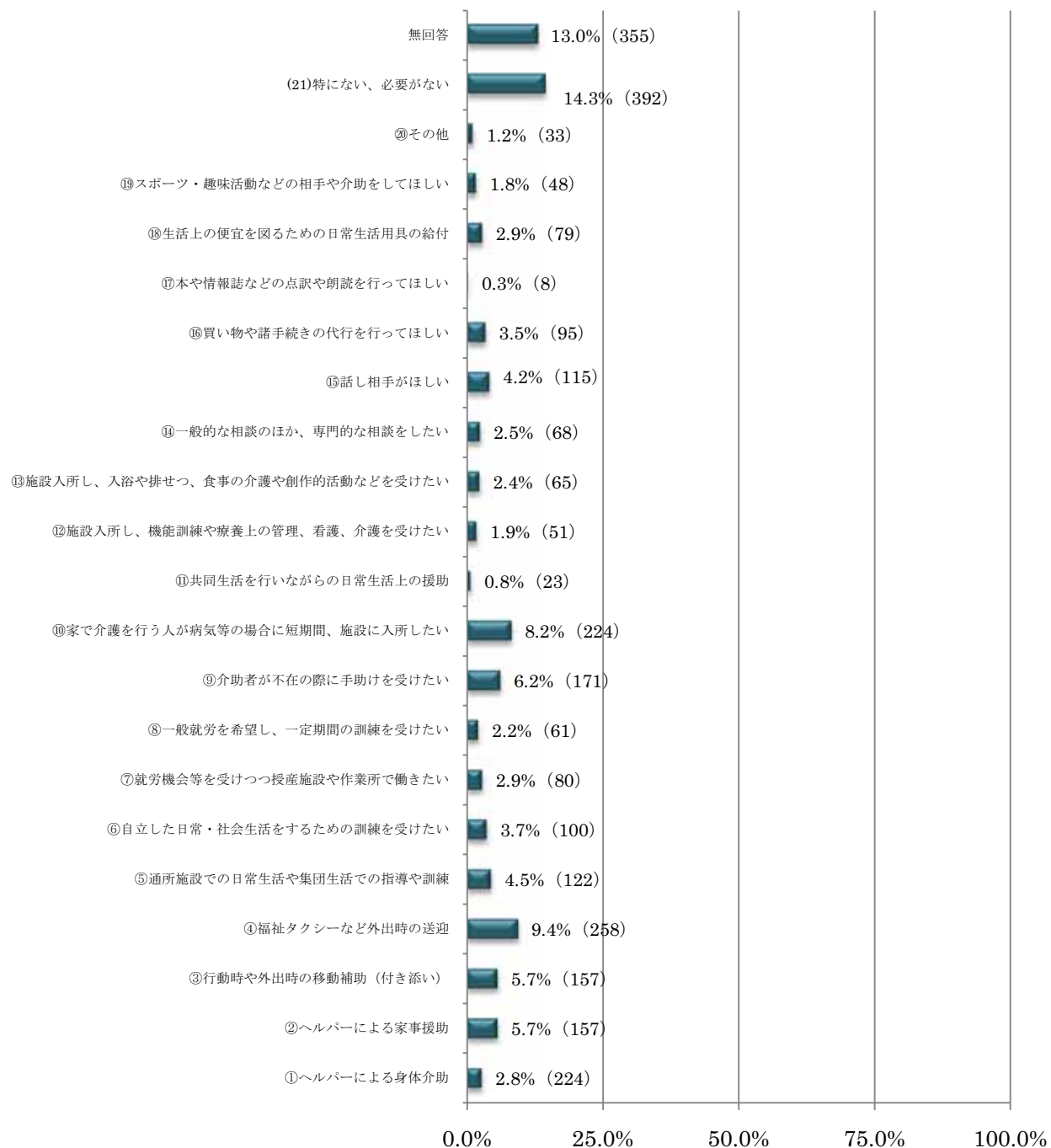


現在の介護者が介助できなくなった場合、誰に頼むか



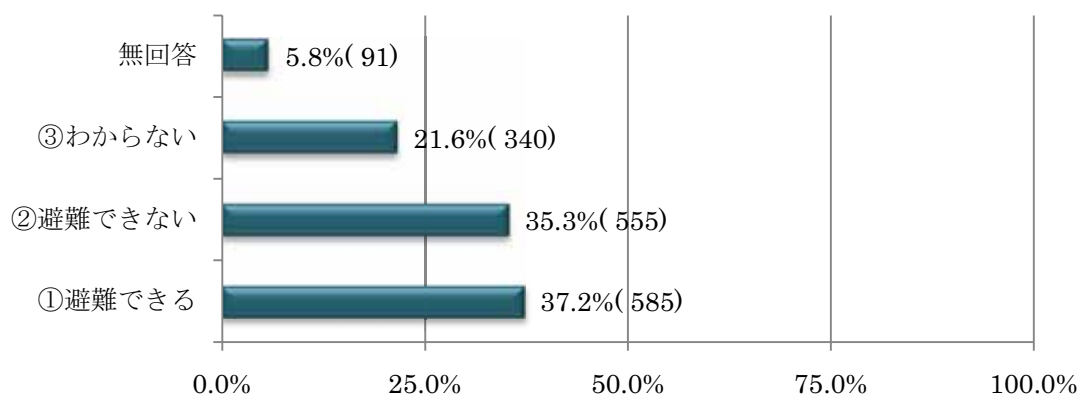
現在の介護者が介助できなくなった場合、「どうしたらいいかわからない」、「誰にも頼めない」という方がいることがわかります。このような場合でも、障害者が介助に困ることのないような体制を整備する必要があります。

受たいサービス（重複回答可）

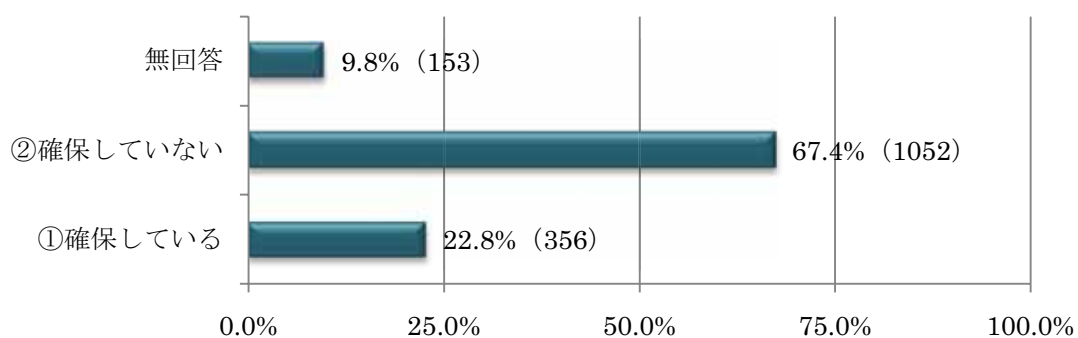


さまざまなサービスを受けたいという意見があることがわかります。ニーズに応じて、必要なサービスを提供できる体制の整備を進めていくことが求められます。

災害時に一人で避難できるか



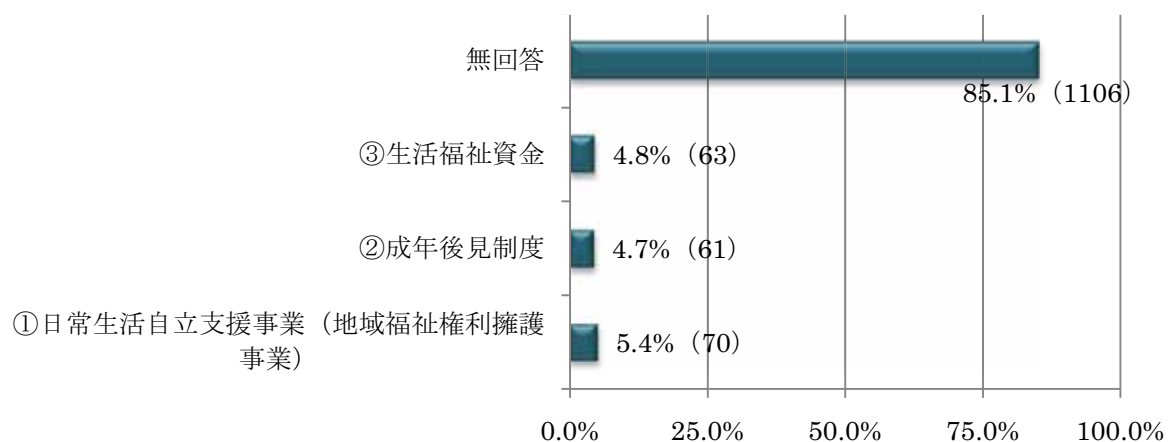
南海地震等の災害時の避難手段を確保しているか



災害時に一人で避難ができない、また、避難手段を確保していないという方が多数いることが見受けられます。

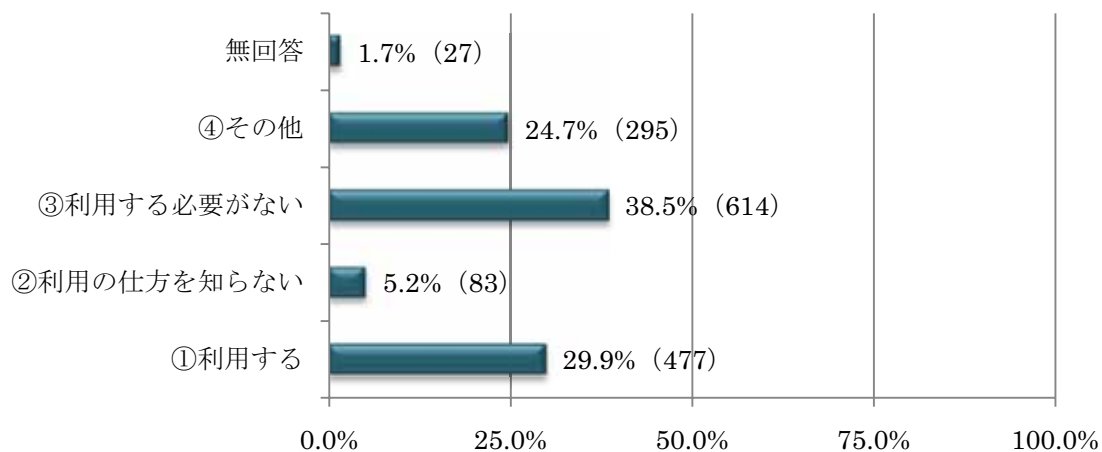
障害がある方でも災害時に無事に避難できるようにするため、行政だけでなく、地域全体で支え合えるような体制を早急に確立する必要があります¹。

次の自立支援制度を知っているか（重複回答可）



「日常生活自立支援事業」、「成年後見制度」、「生活福祉資金」ともに、知っていると答えた方は5%程度という結果であり、制度の周知を進める必要があるといえます。

公共交通機関を利用するか（重複回答可）

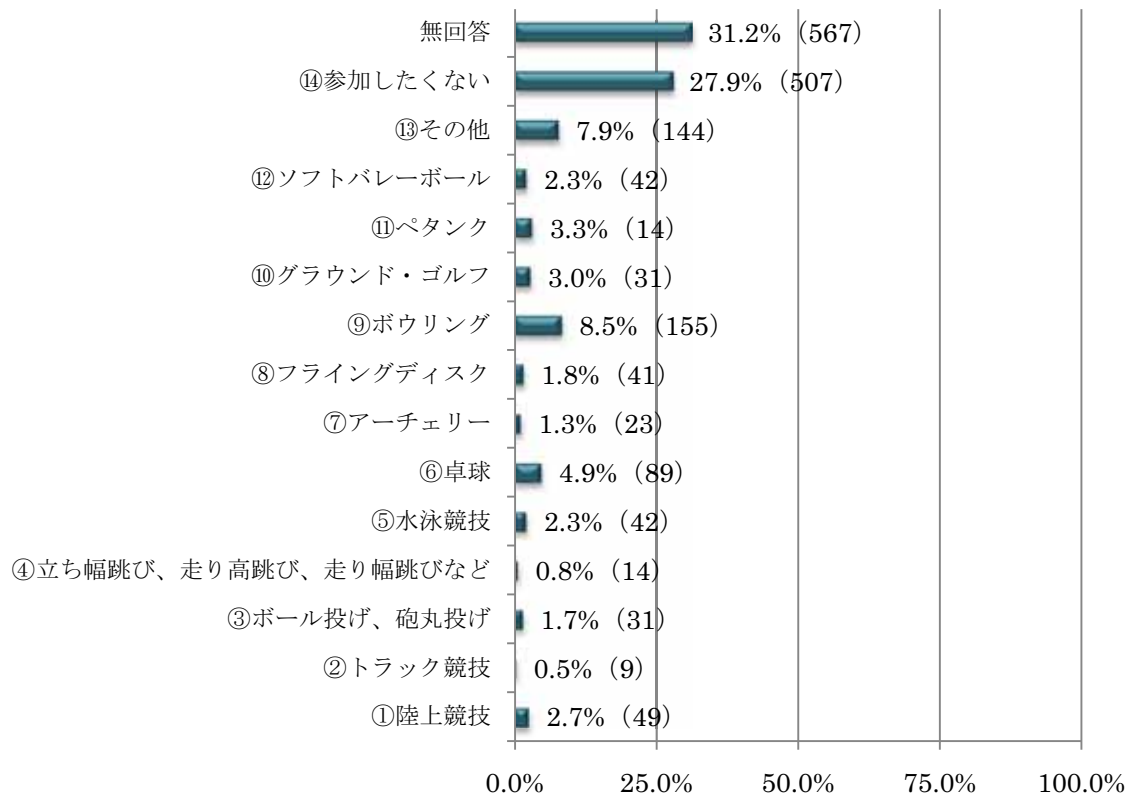


その他の意見（抜粋）

- 利用したくても交通機関が無い
- 利用したいがバス停まで行けない
- 身体的に出来ない

「利用の仕方を知らない」、「利用したくても交通機関がない」などの意見があるため、公共交通機関の確保や、利用方法のわかりやすい説明を進めていくことが求められます。

参加したいスポーツ（重複回答可）

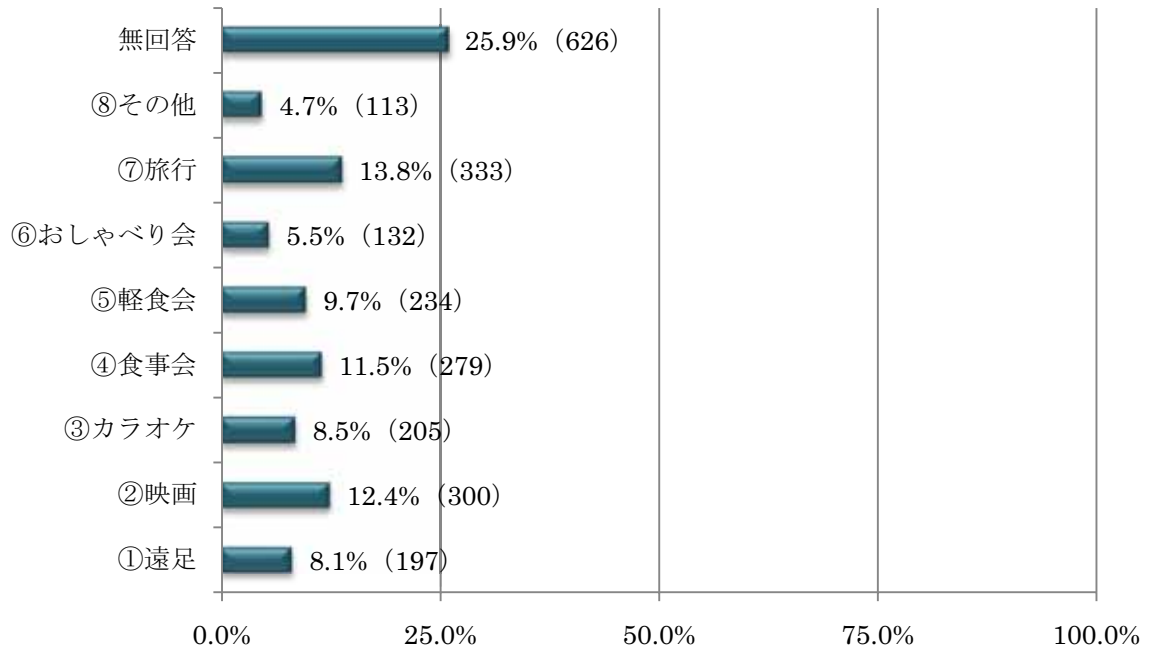


その他の意見（抜粋）

- テニス
- バスケットボール
- ゴルフ大会
- バドミントン
- ソフトボール
- 風船バレー
- 卓球バレー
- バウンドテニス
- 剣道
- フットベースボール

さまざまなスポーツに参加したいという意見をいただきました。なかでも、卓球やボウリングという意見が多いことがわかります。障害があっても自由にスポーツに取り組めるような環境整備を進めることが求められます。

参加したいレクリエーション（重複回答可）

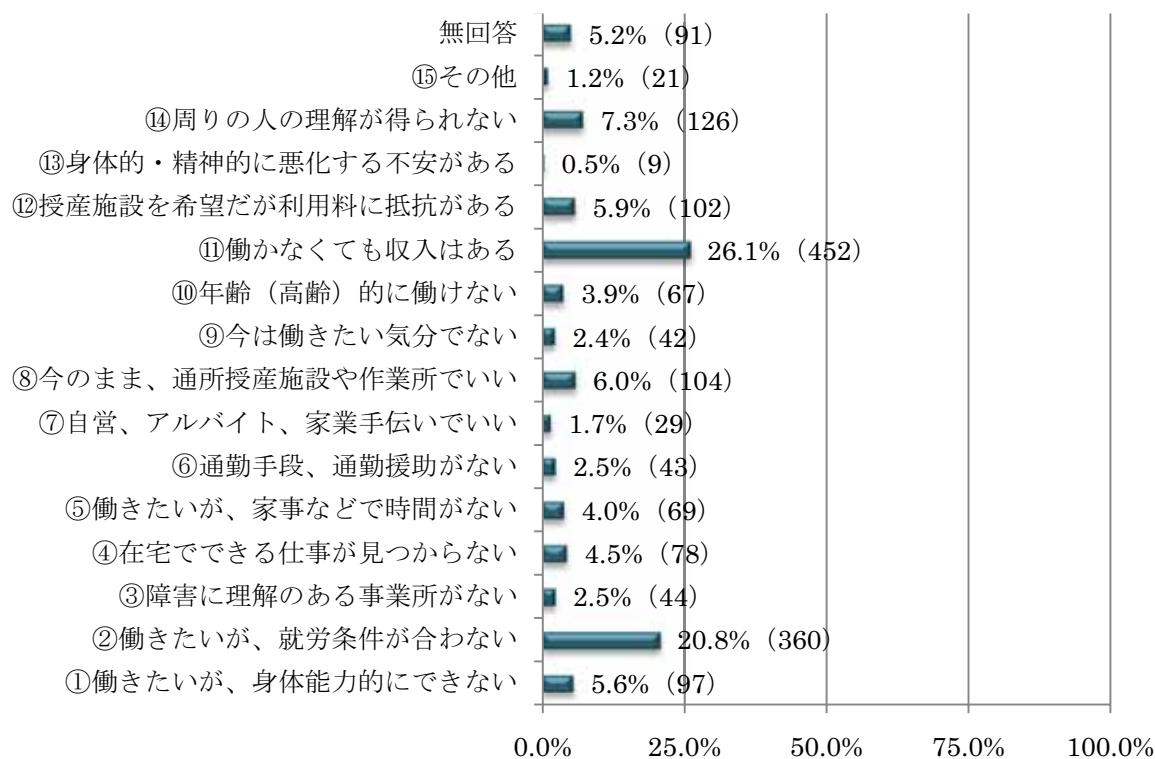


その他の意見（抜粋）

- 化石、蝶、植物分布研究会
- 脚の筋肉をつけるレクリエーション
- 温泉
- アマチュアカメラマンの会
- サイクリング
- 遊園地
- 絵画、陶芸、硬筆
- 刺繍
- パソコンでデジカメを自由に編集できるような講座
- 釣り
- ドライブ
- 俳句
- 音楽療法やコンサート
- ゴルフコンペ
- 囲碁将棋
- 生涯学習
- スポーツフェスティバル
- お花見
- ラフティング、キャンプ
- 花火大会

アンケート項目に加えて、その他の意見としてもさまざまなレクリエーションを挙げていただいております。ニーズに合わせて、多くの方が参加しやすいレクリエーションを提案していくことが求められます。

一般就労していない理由

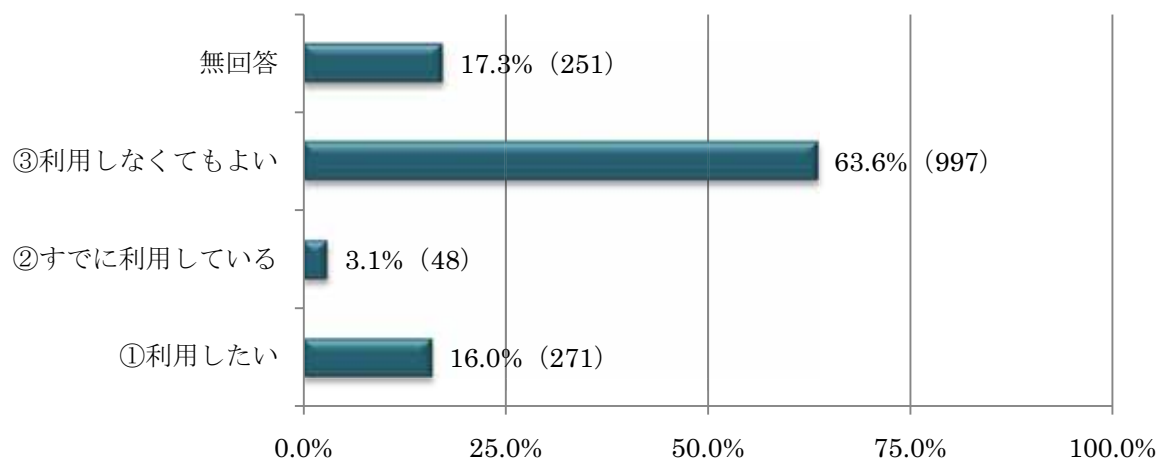


その他の意見（抜粋）

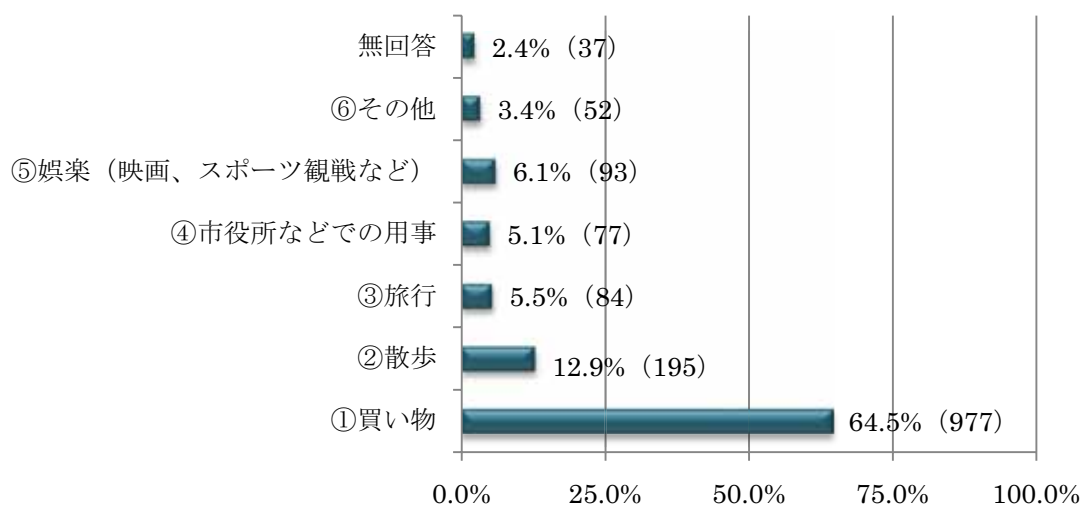
- 働かなくて良いので、いろいろ趣味で教室に通っている
- 医者より禁止されている
- 通院の日と訪問看護の日だけ休める仕事がない
- 人と協調性が持てない
- 時間と体力がない

さまざまな理由がありますが、「働きたいが、就労条件が合わない」という意見が多いことがわかります。就労条件に合う職場を確保する取り組みを官民一体となって進める必要があります。

外出時のガイドヘルパーの利用



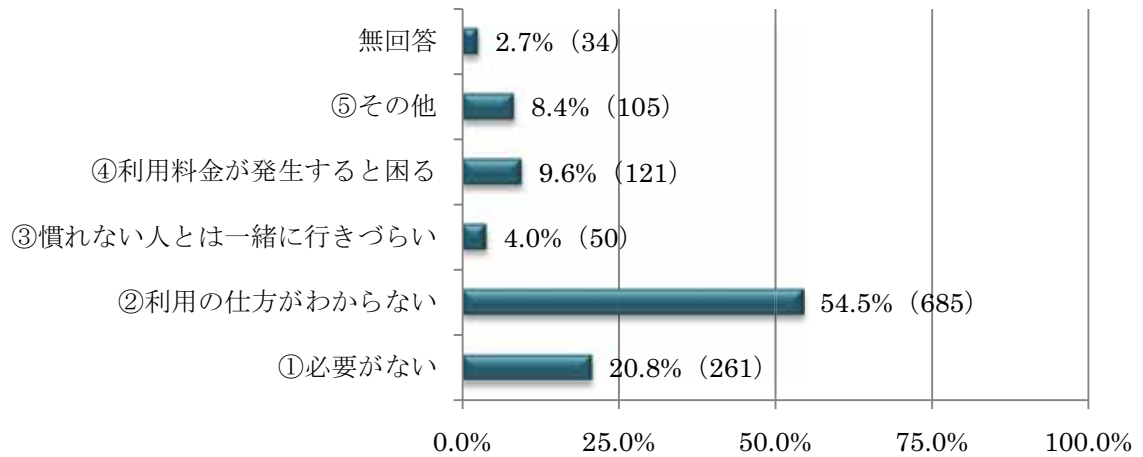
どのような外出にガイドヘルパーを利用したいか（重複回答可）



その他の意見（抜粋）

- 通院、通学、通勤
- 重い物などの移動がある場合
- 散髪など

ガイドヘルパーを利用していない理由（重複回答可）

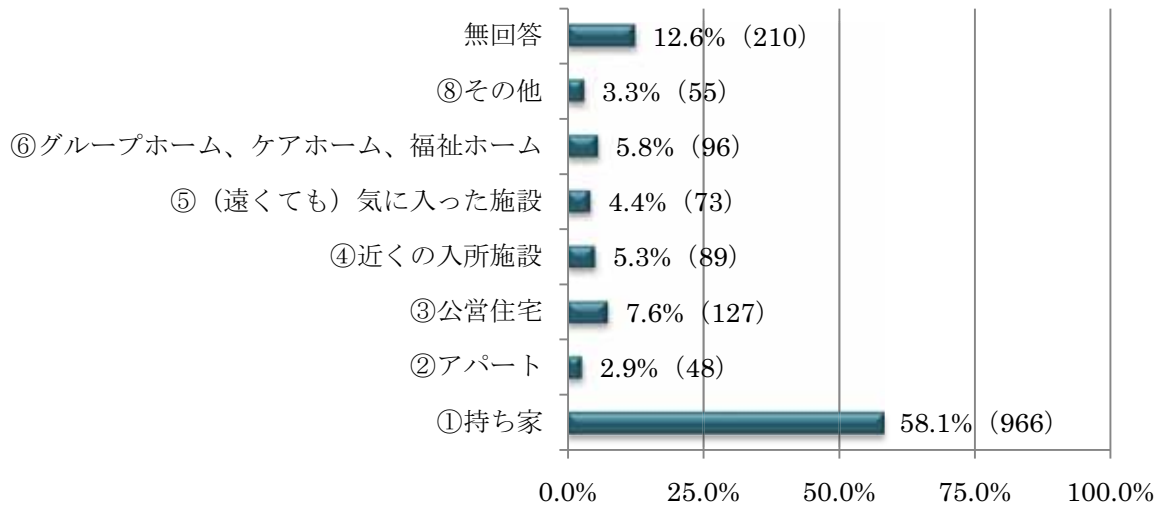


その他の意見（抜粋）

- 身体的な理由で、外出が困難なため

外出時の付き添いとしてのガイドヘルパーについては、買い物や散歩などのときに利用したいという方が多い一方で、利用の仕方がわからないので利用していないという方も多くわかります。必要な支援が受けられないということがないように、窓口等での説明や広報活動を充実させていく必要があります。

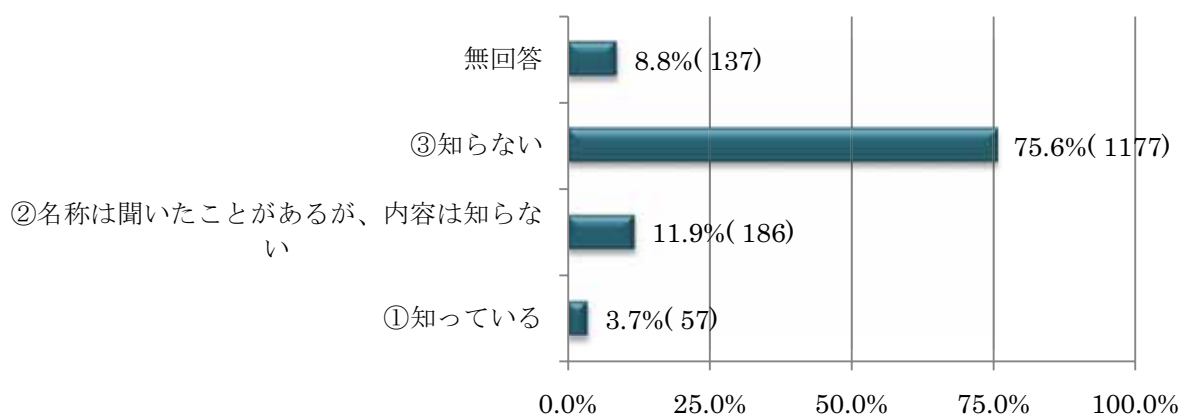
今後暮らしたい場所



さまざまな意見がありますが、住み慣れた地域で暮らし続けたいという方が多いことがわかります。在宅生活を送るうえでの支援や、障害者が入居できる住宅等を充実させることが求められます。

南国市障害福祉計画、南国市障害者計画（なんこくフライトプラン）

を知っているか



南国市の障害者の計画について知らないという方が多いということがわかります。南国市の障害者施策のあり方を知っていただくためにも、これらの計画の周知を進めていくことが課題といえます。

南国市自立支援協議会委員名簿

	氏 名		備 考
1	澤村 豊	会長	南国市社会福祉協議会会長
2	濱口 憲正	副会長	南国市手をつなぐ育成会会長 ・ きてみいや施設長
3	藤澤 功賀		地域活動支援センター「南国」センター長
4	野村 英一		国府寮寮長
5	山本 忠明		通所授産施設 なんこく 施設長
6	中村 武		株式会社コーセー代表取締役
7	田中 正哉		南海学園園長
8	山本 健司		土佐希望の家常務理事
9	中村 富佐子		きてみいや理事長
10	大内山 博子		精神障害者家族代表
11	窪川 遊亀子		心身障害者家族代表
12	今井 義則		南国市身体障害者協議会会長
13	浜田 成亮		高知県難病団体連絡協議会理事長
14	中澤 宏之		南国病院院長
15	山本 和久		障害者就業・生活支援センター ゆうあい支援ワーカー
16	谷口 千海		高知公共職業安定所所長
17	福田 俊樹		県立山田養護学校校長
18	坂本 源一		南国市商工会会長
19	田上 豊資		高知県中央東福祉保健所所長
20	由原 隆一		南国市民生児童委員協議会会長
21	島崎 俊二		南国市保健福祉センター所長
22	山内 幸子		南国市保健課長
23	正木 敬造		南国市教育委員会学校教育課長
24	谷田 豊		南国市福祉事務所長

南国市自立支援協議会 計画部会委員名簿

	氏 名		備 考
1	今井 義則	部会長	南国市身体障害者協議会会長
2	濱口 憲正		南国市手をつなぐ育成会会長 ・ きてみいや施設長
3	野村 英一		国府寮寮長
4	長尾 恭代		ウィール社社長
5	山本 忠明		通所授産施設 なんこく 施設長
6	田中 正哉		南海学園園長
7	大内山 博子		精神障害者家族代表
8	窪川 遊亀子		心身障害者家族代表
9	浜田 成亮		難病団体連絡協議会理事長
10	西岡 満		高知県中央東福祉保健所健康障害課長
11	由原 隆一		南国市民生児童委員協議会会長
12	松本 聡		地域活動支援センター「南国」主任相談支援員
13	村田 知子		南国市保健福祉センター技査

第二次南国市障害者基本計画策定経過

平成21年 7月22日	第1回計画部会
平成21年 9月 3日	第2回計画部会
平成21年11月19日	第3回計画部会
平成22年 1月21日	第4回計画部会
平成22年 3月 4日	第5回計画部会
平成22年 3月18日	南国市障害者自立支援協議会 全体会